

腫瘍センター運営委員会・化学療法レジメン委員会

Plan 計画

根拠に基づいた化学療法および全人的ケアを医師およびメディカルスタッフで適切かつ効果的に実施し患者にとって最良のアウトカムを提供する。

- ① 治療および副作用マネジメントの個別化
 - ・臓器横断的な治療の推進(MSI、NTRK 等)
 - ・コンパニオン診断の普及にともなうプレジジョン・メディスン
 - ・他医療機関および保険薬局との連携
 - ・副作用の分析と事前スクリーニング(irAE・HBV 抗体/DNA)
- ② 安全な化学療法を目的とする体制作りと整備(レジメン登録も含む)
 - ・診療科横断的な irAE 管理体制の継続
 - ・がん患者へ 24 時間対応するチーム体制の継続
 - ・抗がん剤曝露による環境モニタリングと対策
- ③ メディカルスタッフ外来の充実
 - ・診察前面談によるがん薬物治療の向上(薬剤師外来)
 - ・患者の精神的ケア(看護師外来)
 - ・患者の栄養管理ケア(栄養士外来)
 - ・患者の心理的ケア(臨床心理士)
- ④ 増床に伴う患者サービスの向上
 - ・タスクシェア(代行入力等)により患者待ち時間等の改善を行う

Action 改善

- ① 治療および支持療法における患者個人にあわせた医療を提供していく
- ② 有害事象の傾向に基づき対応マニュアルや行動規定を随時検討・策定。
irAE に対して病院として体系的なケアをおこなう。スタッフの職業性曝露を低減していく。
- ③ 継続的に評価し各職種の患者介入をブラッシュアップしていく

Do 実行

- ① ガイドラインや社会的情勢を勘案し最新の医療(治療と支持療法)を患者の社会的背景等にあわせて提供する。
他医療機関および保険薬局とのトレーシングレポート運用継続。
FoundationOne 等によるコンパニオン診断薬の推進
- ② 腫瘍センター運営委員会および irAE 小委員会において、各種対応マニュアルおよび安全基準を設定。調製および投与従事者への曝露対策の実施(閉鎖式ルートの使用拡大)
- ③ 副作用の軽減、患者理解度の向上、精神的ケアおよび栄養指導を目的に薬剤師・看護師・栄養士による面談を実施。関連書類の整備
- ④ さらに、患者に対してシームレスに対応する体制を構築し、安全かつ良質ながん治療を提供する。また、患者サービスの一環として、待機時間の短縮

Check 評価

- ① ガイドライン改訂および新薬の上市にあわせレジメン委員会での審議を経て最新の治療を提供している。また支持療法に関しては個別化対応するとともに、他医療機関からの情報提供を集約し評価する。
- ② 腫瘍センター運営委員会にて実施件数、施行基準逸脱件数、有害事象件数、同意取得状況の報告、待機患者数、環境モニタリングの報告および詳細な状況報告を委員により周知し改善点を随時検討している。必要に応じて新たなマニュアルを作成する。
- ③ 1 年に 1 回、副作用毎の改善率、疑義照会率と内訳等を算出し適格にメディカルスタッフの介入が実施できているか評価する。医療経済的な評価も併せて行う。
- ④ 新たなタスクシェアを展開していく